第5話

喫茶って何?

そうですね
コンビニがあります
あ、喫茶も
あります
きっさ？
喫茶って何？
喫茶、何？
2階
ううん、喫茶、1階ですね
えー、喫茶はなんですか？
ヤンさん？
お茶

お茶？
あ、そう
お茶だけど
お茶
お茶を、何するの？お茶、お茶がある？
?
?
?
のみもの
のみ？

飲み物
飲み物
飲み物があるの？
コーヒー
ん？
コーヒー
コーヒーがある？
コーヒーがあります？
？
？
？
うーん…

第❺話　喫茶って何?

タスク１①　この教師は「きっさ？」という質問に対して「喫茶って何？」と逆に問い返しています。教師が説明するのでなく、学習者に答えを求める方法をとった理由を考えてみましょう。

タスク１②　「喫茶って何？」と問い返す方法の利点と欠点は何でしょうか。できるだけたくさん考えてみましょう。

タスク２　学習者から思うような反応が得られないとき、あなたならどんな工夫をしますか。理由も考えましょう。

第❺話について

第5話では、学習者から単語の意味を聞かれた際の対処法を考えます。

1　なぜ、教師が正解や説明を与えず、学習者から引き出そうとしたか。

①一方的に説明するより、学習者とのやりとりを多くしたほうがよいと考えた、②「きっさ」は、想定外の質問であったため、答えるための準備がなかった、③学習者の中に「きっさ」という単語の意味を知っている者がいるだろうから、その人に答えてもらうことを期待した。

他にも理由はありそうですね。

2　言葉による説明を学習者から引き出す方法の利点と欠点

〈利点の例〉①準備が要らないので楽である、②学習者に言葉の説明の仕方など、練習の機会が与えられる、③正解に至るプロセスを体験させることは、習得に利する可能性が高い。

〈欠点の例〉①回答内容や手段などすべて学習者に任されており、学習者の負担が大きい、②求める回答を得るまでに時間がかかる可能性が高い。

3　問い返し以外に学習者から回答を引き出す方法

「お茶を飲むこと」や「お茶を飲むところ」を回答として想定した場合、次のような方法が考えられます。

①〔選択肢から選択させる〕クイズ形式で、「「喫茶」はどちらですか。A　ここで勉強します　B　ここでコーヒーを飲みます。どちらでしょうか」と問う。

②〔絵を用いる〕喫茶店とわかる絵を描き、「ここはどこでしょう」と問う。

③学習者から「お茶」が出た時点で、白板に

おちゃを＿＿＿＿こと
おちゃを＿＿＿＿ところ

と書き、答えてほしい部分を狭める。

教室ではしばしば単語の意味について質問されます。質問への対応策は、学習者の日本語能力や授業の目的などによって異なってきます。さまざまな方法から選択できるよう、対応策のレパートリーを広げておくと同時に、教師が学習者に何を求めているかを正確に伝える工夫も必要ですね。

（文野峯子）